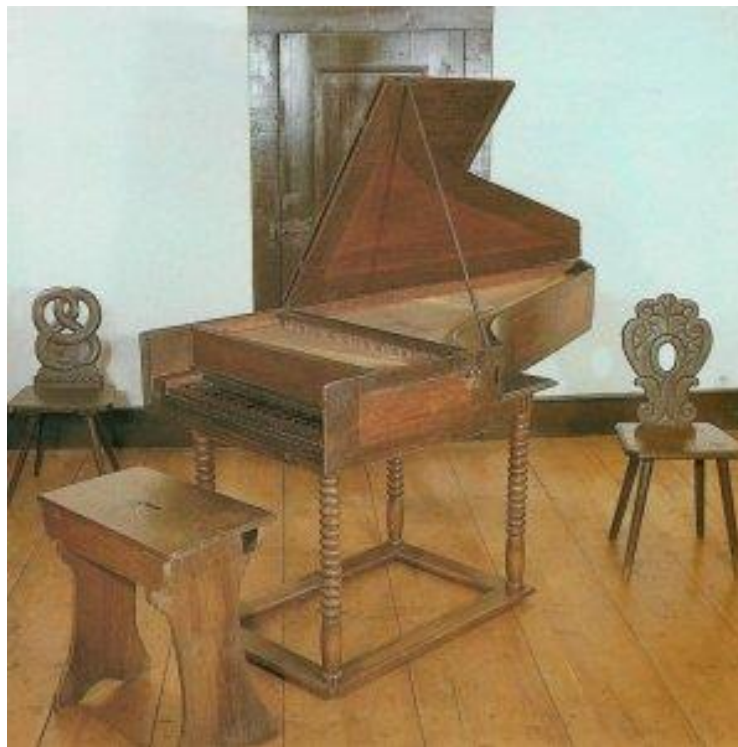


平均律クラヴィーア曲集

Das Wohltemperierte Klavier

J.S. バッハの 2 巻から成る曲集で（第 1 巻 BWV846 ～ 869、第 2 巻 BWV870 ～ 893）、各巻とも 24 の前奏曲とフーガを含む。当時まだ新しかった平均律（ただし現在のようないくつかの等分平均律ではない）の可能性に挑戦し、すべての長調と短調を用いた画期的な曲集で、各巻ともハ長調から始まってハ短調、嬰ハ長調、嬰ハ短調……というように、長調と短調を交互に置いて最後のロ短調まで半音階的に順次上行する配列がとられている。第 1 巻は 1722 年、第 2 巻は 1742 年ころに完成された。自筆譜は第 1 巻が東ベルリンのドイツ国立図書館に、第 2 巻（一部は妻アンナ・マクダレーナの写譜）がロンドンの大英図書館に現存している。（世界大百科事典より）



バッハハウス（アイゼナッハ）の
チェンバロ（1715 年頃）

バッハの生涯と足跡

樋口隆一「バッハの風景」(WR05-221)より

西暦年 (年齢)	住んだ町	就いた仕事		家庭	作曲したおもなクラヴィーア曲
1685-1695 (0-10 歳)	アイゼナッハ				
1695-1700 (10-15 歳)	オールドルフ				
1700-1702 (15-17 歳)	リュネブルク				
1703-1707 (18-22 歳)	アルンシュタット	新教会の オルガニスト			カプリッチョ(BWV992,993)
1707-1708 (22-23 歳)	ミュールハウゼン	聖ブラジウス教 会のオルガニスト	1707	マリア・バルバ ラと結婚	
1708-1717 (23-32 歳)	ワイマール	宮廷オルガ ニスト 兼宮廷楽師 ⇒楽師長			イギリス組曲
1717-1723 (32-38 歳)	ケーテン	ケーテン侯 宮廷楽長	1720	マリア・バルバ ラ死去	ヴィルヘルム・フリーデマン・バッハ のためのクラヴィーア小曲集
			1721	アンナ・マグダ レーナと結婚	
			1722		アンナ・マグダレーナ・バッハのため のクラヴィーア小曲集 第 1 集 平均律第 1 巻
			1723		インヴェンションとシンフォニア
1723-1750 (38-65 歳)	ライプツィヒ	聖トーマス教会 カントル 兼市音楽監督	1722/25		フランス組曲
			1725		アンナ・マグダレーナ・バッハのため のクラヴィーア小曲集 第 2 集
			1726		パルティータ第 1 番
			1731		パルティータ(全 6 曲)
			1735		イタリア協奏曲、フランス風序曲
			1741/42		ゴルトベルク変奏曲
			1742		平均律第 2 巻
1747		音楽の捧げもの			

＜平均律クラヴィーア曲集 第I巻＞

自筆譜の標題

**Das Wohltemperirte Clavier. oder
Praeludia, und Fugen durch alle Tone
und Semitonia, So wohl tertiam
majorem oder Ut Re Mi anlangend,
Als auch tertiam minorem oder Re Mi
Fa betreffend. Zum Nutzen und
Gebrauch der Lehr-begierigen
Musikalischen Jugend, als auch derer
in diesem studio schon habil seyenden
besonderem Zeit Vertreib auffgesetzt
und verfertigt von Johann Sebastian
Bach. p. t: HochFurstlich Anhalt-
Cothenischen Capel-Meistern und
Directore derer Cammer Musiquen.
Anno 1722**

平均律クラヴィーア曲集、または、長3度すなわちドレミも、短3度すなわちレミファも含むすべての全音と半音を用いた前奏曲とフーガから成る。音楽の学習を志す若者が有益に利用するために、また、この学習に熟達した人びとが特別の慰めを得るために、現アンハルト=ケーテン侯の楽長、宮廷楽団の監督ヨーハン・セバスティアン・バッハ作。1722年

角倉一朗著 バッハ作品総目録 (白水社) より

いろいろな版の紹介

第1巻第21番 BWV866 フーガを例にして

1. 自筆の写真版（ファクシミリ）（Deutscher Verlag für Musik）

※配付資料ではベルリン国立図書館所蔵の資料を紹介

2. 原典版

原典版 Urtext-Ausgabe (独)

作曲者の意図を忠実に反映する原典にもとづいて校訂された出版楽譜。
現存する諸資料を比較検討し、資料批判の作業をへたうえで、校訂作業がおこなわれる。また、校訂作業の内容を伝える校訂報告も原典版の重要な一部をなす。

（音楽之友社：音楽中辞典より）

OPAC の「図書目録情報」画面では、「版」あるいは「注記」の項目に〈Urtext〉が表示されます。

資料種別 楽譜(印刷)

書名/著者 Das Wohltemperierte Klavier I = The well-tempered clavier I : BWV 846 - 869 / Johann Sebastian Bach ; herausgegeben von Alfred Dürr

版 Urtext der Neuen Bach-Ausgabe

出版 Kassel : Bärenreiter , c1989

形態1 IX, 125 p

形態2 独奏・独唱譜（無伴奏）

注記 Publisher's no.: BA 5191

著者情報 Bach, Johann Sebastian, 1685-1750 <AU00001864>

作品ID Das Wohltemperierte Klavier I / Johann Sebastian Bach <AS00003882>

資料種別 楽譜(印刷)

書名/著者 Das wohltemperierte Klavier, Teil I = The well-tempered clavier, part I / Johann Sebastian Bach ; herausgegeben von Ernst-Günter Heinemann ; Fingersatz und Hinweise zur Ausführung von Andrés Schiff

出版 München : G. Henle , c2007

形態1 xi p., 129 p. of music : port. ; 31 cm

形態2 独奏・独唱譜（無伴奏）

別書名 見出しタイトル: Das wohltemperierte Clavier oder Praeludia und Fugen durch alle Tone und Semitonia

注記 "Urtext"--Cover

注記 Contains 24 preludes and fugues, BWV 846-869

注記 Comments in German, English and French : p. [123]-129

本文言語 [言語名不明]

著者情報 Bach, Johann Sebastian, 1685-1750 <AU00001864>

著者情報 Heinemann, Ernst-Günter <AU00007678>

著者情報 Schiff, Andrés, 1953- <AU00010153>

所蔵する原典版一覧（出版年順）

出版年	編者	出版社	備考
1862	クロル (Kroll, Franz)	ペーターズ	
1865	バッハ協会 (Bach-Gesellschaft zu Leipzig)	ブライトコプフウントヘルテル	旧全集
1881	ビショッフ (Bischoff, Hans)	シュタイングレーバー	
1950	イルマー (Irmer, Otto fon)	ヘンレ	
1951	トーヴィ (Tovey, Donald Francis)	王立音楽院	
1961	クロイツ (Kreuz, Alfred)	ペーターズ	
1971	ケラー (Keller, Hermann)	ペーターズ	2巻のみ
1977/1983	デーハルト (Dehnhard, Walther)	ウィーン原典版	
1989/1995	デュール (Durr, Alfred)	バーレンライター	新全集
1997	ハイネマン (Heinemann, Ernst-Gunter)	ヘンレ	1巻
	富田庸		2巻

ヘルマン・ケラー「J.S.バッハの平均律クラヴィーア曲集」補遺を元に作成

※配付資料には、以下の譜例を掲載しています。

- ・全集版（バーレンライター Bärenreiter 版 新全集）
- ・ハイネマン編、ヘンレ Henle 出版

3. チェルニー Czerny, Carl 校訂の楽譜 (Peters など)

1837年にカール・チェルニーが、最初の、そして何十年もの間、権威のあった注釈付きの《平均律クラヴィーア》の版を出版した。チェルニーはテンポ、デュナーミク、フレージング、アーティキュレーション、その他の発想記号、詳しい指使い、——そのすべてによって、研究および演奏への完全な指示をしている。チェルニーは、ベートーヴェンの弟子として、そして、その時代の見解に偏って、バッハの音楽に彼自身の時代を投影した。こんにちわれわれは、彼のしばしば速すぎるテンポ、絶えず変るデュナーミク、アーティキュレーション記号、繰返し様式に逆らっている解釈を直ちに否定する。しかし、この版が出版された当時は、大勢の愛好家にバッハを弾くことを可能にした、非常に意義のある業績であった。（ヘルマン・ケラー「J.S.バッハの平均律クラヴィーア曲集」補遺より）

※配付資料には譜例等を掲載しています。

4. バルトーク **Bela Bartok** 校訂の楽譜 (Editio Musica): arranged in progressive order,
provided with fingering, expression marks and notes by Bela Bartok (標題紙より)

※配付資料には譜例等を掲載しています。

バルトーク版の曲の順序 (難易度による)

第1巻				第2巻			
1	II - 15	13	II - 11	25	I - 15	37	II - 3
2	I - 6	14	I - 19	26	II - 12	38	I - 12
3	I - 21	15	I - 14	27	II - 1	39	I - 3
4	I - 10	16	I - 18	28	II - 24	40	II - 8
5	II - 20	17	II - 2	29	II - 10	41	I - 22
6	I - 11	18	I - 5	30	I - 16	42	II - 17
7	I - 2	19	I - 7	31	II - 5	43	I - 4
8	I - 9	20	II - 14	32	II - 18	44	I - 8
9	I - 13	21	II - 7	33	I - 24	45	I - 20
10	II - 21	22	I - 1	34	II - 9	46	II - 22
11	II - 6	23	I - 17	35	II - 4	47	II - 16
12	II - 19	24	II - 13	36	I - 23	48	II - 23

5. ブゾーニ Busoni, Ferruccio 校訂の楽譜 (Breitkopf)

これらは、研究用の版と理解されるべきであり、すぐれた音楽家やピアニスト、この場合は**フェルッチョ・ブゾーニ**であるが、使用者に自らの解釈を伝えている。これは1898年と1915年の間にブライトコプフ・ウント・ヘルテル社より出版され、本書および原典版のかたわらに置いて、こんにちでもなお参考にすることができる。(ヘルマン・ケラー「J.S.バッハの平均律クラヴィーア曲集」補遺より)

※配付資料には譜例等を掲載しています。

6. 主題、対主題を色分けした楽譜:ボーケルマン Bernardus Boekelman 編著:
カラー譜 平均律ピアノ曲集 (公論社)

第1巻からフーガ11曲(第1-7、10、16、21、22 番)を収録。1曲ごとに和声譜とフーガに関する注釈つき。(C10-677)

※配付資料には譜例等を掲載しています。

7. 分析表のある楽譜：高木幸三校訂（全音楽譜）

巻頭に各曲の解説とフーガの分析表あり

巻末にエディション別テンポ一覧表（ビショップ版、ブゾーニ版、ムジェリーニ版、バルトーク版、カセッラ版、トーヴィ版、ツェルニー版、井口版）、および演奏家別テンポ一覧表あり

※配付資料には分析表例を掲載しています。

8. 園田高弘校訂版（春秋社）

私は 1977 年と 1992 年の 2 回、「平均律」を録音している。1 回目の録音の際にはチェンバロで奏される分節法、すなわちスタッカートやレガートのアーティキュレーション、装飾音、トリル等に興味を持ち、それをいかにピアノに置き換えるかに苦心した。2 回目の録音に際しては、その配慮の上で、ピアノによる、よりピアノスティックな演奏に努力し、テンポについても早いものは早く、遅いものはピアノの音の響きを利用して拡大し、ペダルの使用も十分に考慮して、ピアノによる演奏を変化あるものにした。

この校訂楽譜は、そのような経験をふまえたうえで、ピアノの特性を生かした演奏のための一つの解釈を示したものである。（園田高弘校訂版 はじめに より）

※配付資料には譜例を掲載しています

OPAC による検索

キーワード欄に バッハ 平均律 と入力してください



作品 ID から 平均律クラヴィーア曲集 第 1 巻

あるいは 平均律クラヴィーア曲集 第 2 巻 を選択する

*校訂者で検索したい場合は、

キーワードに校訂者名（例：Dehnhard など）を入力



をクリック

*また、この冊子の所蔵リストで興味のある資料が見つかった場合には
請求記号欄に半角英数で請求記号（例：C03-189 など）を入力してください

ショパンの書き込みがある「平均律クラヴィーア曲集第1巻」の楽譜の複製

解説：ジャン＝ジャック・エーゲルディングル（仏英ポーランド語）（C43-029）

この楽譜は1828年？にRichault社からパリで出版されたもので、ショパンの書き込みは、16、17、18、19、22、23、24番のフーガにあり、主題や対主題、応答、主題の拡大の入り、主題の転回などを示すマークが記されている。

[エーゲルディングル「ショパンの響き」(WR05-041)より]

バッハは、作曲家、演奏家、指導者として、ショパンの音楽活動の栄養源となっていた。彼が《前奏曲集》を完成したマヨルカ島に唯一携えていった楽譜は《平均律クラヴィーア曲集》だといわれている。数ヶ月後、ノアンに帰ったショパンは「バッハのパリ版」について、その校訂と印刷の間違いを正すのだと述べている。[中略]多くの証言者が口を揃えて、ショパンが指導の基本にこの《平均律》を用いたと述べている。同時代の人たちに倣って、ショパンもバッハを多声音楽の演奏習得に使っていたのである。ある弟子が持っていた1冊のフランス版の《平均律》（現在まで知られていなかった）には、指使いや両手の声部の振り分けなどの実践的な注釈のほかに、フーガの分析用語が、おそらくショパンの手で書き込まれている。

※配付資料には、第24番 フーガの冒頭の書き込みに関する資料を掲載しています

[ショパンの手紙 (U01-304)より]

パリのジュリアン・フォンターナに、ノアン [1839年8月8日] 木曜日

・・・特別になにかしなければならぬことがない時は、ぼくは自分のためにバッハのパリ版の校訂をやっています。彫版工が間違っただけでなく、バッハを理解していると思われる権威ある人たちが支持している誤りがあります。——ぼくの方がずっとよくわかっているなどと自負しているわけではないが、時としてはぼくは正しい解決をつけたと思っています。おお、ぼくがなにをしたか、またそれを誇りにしているか、君にもはっきりわかるよ。

平均律から編曲された主な作品

1. モーツァルト Mozart, Wolfgang Amadeus

J.S.バッハ 5つのフーガの編曲 2つのヴァイオリン、ヴィオラとチェロ K. 405 (II-2, 5, 7~9 フーガ)

自筆譜には他人の手で「モーツァルトによって2つのヴァイオリンとヴィオラとバスのために編曲されたバッハのクラヴィーア・フーガ」という標題が記されている。

編曲時期については明らかでないが、モーツァルトは1782年の春に特にバロック音楽に熱中していた音楽愛好家のスヴィーテン男爵と知り合い、この年には多くの対位法的な作品を書いていることから、この編曲も同じ時期に行われたと考えられている。[中略]

なお、5曲の原曲はいずれもバッハの『平均率クラヴィーア曲集第2巻』からとられており第2番 BWV871、第7番 BWV876、第9番 BWV878、第8番 BWV877、第5番 BWV874の順に編曲されている。

(モーツァルト事典／監修海老澤敏・吉田泰輔 より)

2. ベートーヴェン Beethoven, Ludwig van

バッハの「平均律クラヴィーア曲集」第1巻の変口短調フーガの弦楽五重奏への編曲 Hess 38 (I-22 フーガ)

編曲:1801~02年、ヴィーン

楽器編成: ヴァイオリン2、ヴィオラ、チェロ2

自筆譜は旧東ベルリンのドイツ国立図書館所蔵。成立年代の根拠は、同じ楽譜にピアノのための《バガテル》Op.33 (1801~02)の第7曲と第5曲もスケッチされていることによる。ベートーヴェンはかなりの箇所ではバッハの音楽に変更の手を加えているが、そのことは彼がフーガ作曲の問題に自ら本格的に取り組もうとしていたことを示している。他人のフーガ作品の編曲の中でこれだけが「旧全集への補遺」に収録されたのも、単なる総譜化を超えた問題意識がみとめられるからとのこと。(ベートーヴェン事典／平野昭・土田英三郎・西原稔編著 より)

3. バッハ=グノー Bach=Gounod アヴェ・マリア (I-1 前奏曲)

グノーの「アヴェ・マリア」としてひろく親しまれている歌である。バッハの「平均率クラヴィーア曲集」の第一巻第一番ハ長調の前奏曲を、そのまま移調して伴奏部に用い、それに合わせて旋律を作ったという着想が、この曲の通俗的な人気を高めるにあずかって、力があつたに違いない。

(最新名曲解説全集 22巻 声楽曲 II より)

編曲された作品を OPAC で検索するには

1. 編曲者がわかっているとき

例) コダーイ

キーワード欄に バッハ 平均律 コダーイ と入力してください



作品 ID がヒットしたら、ASxxxxxxx をクリック

作品名がヒットしなかったら、編曲者は綴りを入力してください

例) モシュレス

キーワード欄に bach moscheles と入力

2. 曲から検索するとき

例) 平均律第 1 巻第 10 番

キーワード欄に バッハ 平均律 第 1 巻 10 と入力してください



作品 ID がヒットしたら、ASxxxxxxx をクリック

原曲の資料も含まれますが、編曲の楽譜・録音資料・映像資料も

ヒットします

楽譜は演奏手段、録音資料・映像資料は演奏者名で絞り込むことができます